



平成28年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成27年7月31日

上場取引所 東 福

上場会社名 株式会社 ミスターマックス
 コード番号 8203 URL <http://www.mrmax.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員財務部長
 四半期報告書提出予定日 平成27年8月12日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 平野 能章
 (氏名) 中野 英一

TEL 092-623-1141

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第1四半期の業績(平成27年4月1日～平成27年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第1四半期	29,275	13.1	425	—	436	—	266	—
27年3月期第1四半期	25,894	△2.0	△234	—	△213	—	△165	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第1四半期	8.03	—
27年3月期第1四半期	△4.99	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第1四半期	80,161	—	18,588	—	—	23.2
27年3月期	78,089	—	18,339	—	—	23.5

(参考)自己資本 28年3月期第1四半期 18,588百万円 27年3月期 18,339百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
28年3月期	—	—	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成28年3月期の配当予想額については、未定としております。

3. 平成28年3月期の業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	56,500	1.2	150	—	160	—	75	—	2.26
通期	115,800	1.3	500	—	520	—	280	—	8.43

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期1Q	39,611,134 株	27年3月期	39,611,134 株
28年3月期1Q	6,410,624 株	27年3月期	6,410,228 株
28年3月期1Q	33,200,787 株	27年3月期1Q	33,202,476 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項については、添付資料の2ページをご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	2
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	2
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	2
3. 四半期財務諸表	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
第1四半期累計期間	5
(3) 継続企業の前提に関する注記	6
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間においては、スーパーセンター業態の店舗数増加を背景に加工食品や日配品が好調な食品部門や、紙おむつや洗剤が好調なHBC (Health and Beauty Care) 部門を中心に、全商品部門で売上が前年を上回りました。

特に既存店においては、前年同期比109.3%と大きく売上を回復させた一方で、人件費、減価償却費、広告宣伝費、清掃費など前年同期に比べ約1億40百万円の経費削減を実現した結果、既存店の損益は前年同期比約7億円改善しました。

このような既存店の大幅な増収増益に支えられ、前期中に開店した新店の売上高と、テナント賃貸収入、太陽光発電収入などを加えた営業収益は292億75百万円（前年同期比13.1%増）と増収となり、利益面でも、営業利益は4億25百万円（前年同期は2億34百万円の損失）、経常利益は4億36百万円（同2億13百万円の損失）、四半期純利益は2億66百万円（同1億65百万円の損失）と、いずれも、消費税増税にともなう駆け込み需要の反動があった前年同期の損失幅を上回る利益を計上することができました。

(2) 財政状態に関する説明

(総資産)

当第1四半期会計期間末における総資産は、商品在庫や売掛金の増加などにより、前事業年度末に比べ20億72百万円増加し、801億61百万円となりました。

(負債)

負債は、買掛金や借入金の増加などにより、前事業年度末に比べ18億22百万円増加し、615億72百万円となりました。

(純資産)

純資産は、利益剰余金の増加などにより、前事業年度末に比べ2億49百万円増加し、185億88百万円となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期累計期間においては、大幅な増収と利益改善を図ることができましたが、第2四半期以降の天候など消費環境の見通しが不透明なことから、平成28年3月期の業績予想につきましては、第2四半期、通期とも、平成27年5月14日公表の予想数値を据え置くものとします。

※上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づくものであります。

※実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成27年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,897	2,110
売掛金	1,544	2,255
商品	9,045	10,819
貯蔵品	77	97
その他	2,054	1,828
流動資産合計	14,621	17,111
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	16,877	16,580
土地	27,167	27,167
その他（純額）	5,546	5,396
有形固定資産合計	49,591	49,144
無形固定資産	171	156
投資その他の資産		
その他	13,705	13,747
投資その他の資産合計	13,705	13,747
固定資産合計	63,468	63,049
資産合計	78,089	80,161

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成27年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,558	10,139
電子記録債務	5,120	5,594
1年内返済予定の長期借入金	10,750	11,949
未払法人税等	—	53
引当金	308	218
その他	5,040	4,063
流動負債合計	29,777	32,019
固定負債		
長期借入金	20,349	20,077
退職給付引当金	704	708
店舗閉鎖損失引当金	867	867
資産除去債務	1,119	1,124
その他	6,932	6,775
固定負債合計	29,972	29,553
負債合計	59,749	61,572
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,229	10,229
資本剰余金	9,951	7,980
利益剰余金	622	2,858
自己株式	△2,598	△2,598
株主資本合計	18,204	18,470
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	85	113
繰延ヘッジ損益	49	4
評価・換算差額等合計	135	118
純資産合計	18,339	18,588
負債純資産合計	78,089	80,161

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
売上高	24,705	28,057
売上原価	19,239	21,797
売上総利益	5,466	6,260
営業収入		
不動産賃貸収入	1,058	1,048
その他の営業収入	130	169
営業収入合計	1,189	1,217
営業総利益	6,655	7,478
販売費及び一般管理費		
販売費	1,312	1,338
一般管理費	5,577	5,714
販売費及び一般管理費合計	6,889	7,052
営業利益又は営業損失(△)	△234	425
営業外収益		
受取利息	23	23
受取手数料	55	52
仕入割引	3	2
その他	29	15
営業外収益合計	112	94
営業外費用		
支払利息	84	81
その他	7	1
営業外費用合計	91	83
経常利益又は経常損失(△)	△213	436
特別利益		
テナント解約収入	8	2
特別利益合計	8	2
特別損失		
固定資産除却損	16	2
投資有価証券評価損	1	—
特別損失合計	17	2
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△222	436
法人税、住民税及び事業税	34	24
法人税等調整額	△91	145
法人税等合計	△56	170
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△165	266

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成27年6月26日開催の定時株主総会決議により、同日付で会社法第448条第1項の規定に基づき、資本準備金1,970百万円を減少させ、その他資本剰余金に振り替えた後、同日付で会社法第452条の規定に基づき、その他資本剰余金を減少し、繰越利益剰余金に振り替え、欠損の填補を行いました。

この結果、当第1四半期会計期間において資本剰余金が1,970百万円減少し、利益剰余金が1,970百万円増加しております。なお、株主資本の合計金額には、著しい変動はありません。